

災害看護論

単位数（時間数）：1 単位（15 時間） 必修/選択：必修 履修年次：4 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：非常勤講師・千島佳也子

科目担当者（職位・氏名）：

対応DP：人間力 ケア・スピリット 人間の実践的理解 専門的知識・技術とその臨床実践
多職種連携・チームワーク アドボカシー

科目記号：98

■ 授業概要

急性期、亜急性期、慢性期、復興期の看護に必要となる健康問題への対応策やこころのケアの必要性とその具体的な方法をライフサイクル別の看護を通して教授する。また、災害時における被災者や専門職のジレンマを題材にロールプレイングを行い、「想定外」の出来事への対応について教授する。

■ 到達目標

1. 災害が人々の健康に及ぼす影響を理解できる。
2. 災害時の看護活動の実際を理解し考察できる。
3. 災害時のジレンマに対抗できる想像力を養うことができる。

■ キーワード

ライフサイクル、ジレンマ、災害弱者

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	災害時に活動する様々な保健医療チームとその調整について	我が国の災害時の保健医療福祉体制について知り、被災地で活動する様々な保健医療福祉チームの種類と調整された支援の重要性について学ぶ。	千島
2	人道支援の必須基準	支援を行う上での支援者としての姿勢を学ぶ。	千島
3	災害時の看護活動① －子どもや親への看護－	危機的な出来事に直面した子どもに必要な Child-Friendly-Spaces や PFA から被災した子どもに必要な支援について学ぶ。	千島
4	災害時の看護活動② －高齢者への看護－	被災した高齢者の心理的特徴や健康問題の特徴を捉え、避難所や応急仮設住宅での支援と看護について学ぶ。	千島
5	災害時の看護活動③ －心の健康を保つための看護－	被災者に起こりやすい心の健康問題とその看護、支援者の心理とその支援について学ぶ。	千島
5	災害時の看護活動④ －外国人支援－	災害弱者としての外国人への具体的支援方法について学ぶ。ウクライナからの難民の事例の紹介。	千島
6	災害時の保健師活動 －支援者支援、健康危機管理等－	被災自治体職員への支援等の支援者支援の重要性について学ぶ。 公衆衛生看護学の立場から、災害時の健康危機管理について学ぶ。	千島
7	近年の災害事例	近年の災害による支援チームの具体的な活動や課題について学ぶ。	千島
8	災害を生き抜くためのグループワーク	災害時のジレンマにおいて、幾つかの正解のない問いの一つを選択し、グループで検討・発表をする。 ●レポート課題提出	千島

■ 履修条件

災害援助論が履修済みであること。

■ 成績評価方法

最終レポート 50%、リアクションペーパー内容 20%、演習 30%

レポート課題：貴方の就職予定施設・機関を想定し、そこで大規模災害が発生した場合に予測される問題を一つ以上取り上げ、その予防・低減のため静穏期に看護職が果たす役割について述べなさい。

*レポート作成にあたり剽窃等が認められた場合は、評価の対象としない。

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

- ・課題レポートのフィードバックはコメントを付して返却し行う。
- ・期末試験は、試験後に採点基準と解説を Google Classroom にアップロード（掲示）する。

■ 教科書

- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版
看護の統合と実践 ③ 災害看護

■ 参考書・参考資料等

- ・（公財）日本ユニセフ協会、（独）国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所、災害時こころの情報支援センター『子どもに優しい空間ガイドブック（Child-Friendly-Spaces）』
- ・支援の質とアカウントビリティ向上ネットワーク（JQAN）『スフィアハンドブック 人道憲章と人道支援における最低基準』
- ・科発 0705 第 3 号, 医政発 0705 第 4 号, 健発 0705 第 6 号, 薬生発 0705 第 1 号, 障発 0705 第 2 号, 平成 29 年 7 月 5 日厚生労働省大臣官房厚生科学課長, 医政局長, 健康局長, 医薬・生活衛生局長, 社会援護局生涯保健福祉部長『大規模災害時の保健医療活動に係る体制の整備について』
- ・令和元年度地域保健総合推進事業『災害時の保健活動推進マニュアル』
- ・平成 30 年度厚労科研補助金事業『DHEAT 活動ハンドブック本編』
- ・医政地発 0331 第 1 号平成 28 年 3 月 31 日『日本 DMAT 活動要領の一部改正について』

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

授業前後の学習は授業にて指示する。

■ 担当教員からのメッセージ

災害援助論で学んだことを踏まえ、積極的に授業に参加してください。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

学務課へお問い合わせください。

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

看護師、災害時の自治体での公衆衛生活動

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容

国内外問わず、災害急性期～復興期に及ぶ保健医療活動支援による経験を活かし、専門的で実践的な講義を行います。